

大阪市廃止に道理なし

市議会本会議 井上議員が反対討論



井上議員の反対討論
3日、大阪市議会本会議場

3日の大阪市議会本会議では日本共産党、自民党、「市民第一」の会派が「協定書」に反対しました。

反対討論で日本共産党の井上浩議員は、コロナ禍で苦境に立つ市民に寄り添い、暮らしを応援すること、今ほど求められている時

はないと力説。大阪市を壊すことに時間と税金、労力を費やすのではなく、政令市の財源・権限を最大に生かすべきであり、「大阪市廃止には一片の道理もない」と断じました。

新たに示された「特別区」の財政シミュレーション

ンは、コロナによる経済悪化や税収減を反映しない一方、大阪メトロからの配当金など大幅に上乘せし、プールなどの削減を織り込んだもので、「大阪市廃止・分割構想の本質は変わらない」と批判。「いま一度、幅広い市民との共同を広げ切り、先人たちが築き上げてきた、自治都市・大阪市の歴史を必ずや継承・発展させる」と表明しました。